

緑化重点地区《なんば・天王寺・あべの地区》 緑化等の方針の修正案について



1. 前回審議会で提示した資料（概要）
2. 前回審議会での主な意見と対応方針
3. 意見を踏まえた修正案

1. 前回審議会で提示した資料（概要）

－ 基本方針 －

天王寺公園を核としたみどりの拠点づくりと
なんば・天王寺・あべのを歩いて楽しめるみどりのまちづくり

個別方針①

大阪南部の玄関口を
象徴するみどりの拠点
づくりと機能の充実

- 上町台地に残る大阪の歴史・文化を感じられるみどりの保全育成
- 庭園や動物園など都心魅力を創造し発信するみどりの創出と管理運営
- 生物多様性に関する情報発信や環境教育の場としての機能の充実

個別方針②

大阪ミナミのシンボルと
なる居心地の良い
おもてなし空間としての
みどりの創出

- ミナミの新たなシンボルとなり、憩いの場となる駅前の上質で居心地の良い空間の創出
- 大規模開発等における屋内外の立体的なみどりの創出
- 公開空地など開発によるおもてなし空間となるみどりの創出

個別方針③

各エリアにおいて誰もが
安心して回遊を楽しめる
歩行者環境の形成

- 主要な観光資源等をつなぐ主要街路やみどりの保全育成
- 道路隣接地の建物所有者等と連携した花やみどり豊かな心地よい歩行者環境の形成

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 前回委員からいただいたご意見

- 誰が、どのように、どういう風に市民を巻き込むか、具体的にどう実現していくのかを考える必要がある。各地区のエリアマネジメント団体などの意見も聞いてもらいたい。

「大阪エリアマネジメント活性化会議」（2017.1月発足）の会員のうち、2 団体がなんばで活動を行っており、これのまちづくり団体にヒアリングを実施した。

また、当地区内でまちづくり活動を行っている民間企業にもヒアリングを実施した。

① ミナミまち育てネットワーク

主な活動

- イベント開催（ミナミ学生音楽祭）
- 清掃活動（地元町会等も一緒になった清掃活動）
- エリア防災（セミナーを通した防災意識の向上など）

② 一般社団法人 ミナミ御堂筋の会※

主な活動

- 道路の維持・管理活動（放置自転車対策、清掃、美化活動など）
- 景観形成やイベントへの協力・連携（御堂筋イルミへの協賛など）
- 情報交換会

※御堂筋における道路協力団体（指定期間R2.10月～R7.10月）としても指定されている



2. 前回審議会での主な意見と対応方針

■ 各エリアマネジメント団体へのヒアリング

① ミナミまち育てネットワーク

- ・ 不景気期においても、なんばパークスの売上は他の商業施設ほど低下しなかった。それも緑化の一つの効果なのではないかと思う。

② （一社）ミナミ御堂筋の会

- ・ 発足当初はみどりへの関心は高くなかったが、最近は少しずつ高まってきており、福岡市の「一人一花運動」のような取り組みを行いたいと考えている。一方で、メンテナンスの財源をどのように確保するのが課題。

③ 民間企業（当該地区内でまちづくり活動を行っている企業）

- ・ てんしばを核として、大阪市立美術館や周辺エリアをつないでいきたい。
- ・ なんばエリアについては、開発に合わせて立体的な緑化を行うことで、みどりのネットワークをつなげていきたいと考えている。
- ・ なんばエリアにおけるみどりは、エンターテインメントを創っていく要素として重要なインフラだと認識している。一方で、新今宮エリアにおいて求められるみどりの役割は、都市における生活の質の向上ではないかと思う。

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

《委員からのご意見》

- ・新今宮は非常にイメージが変わった。新今宮の取扱いについて検討する必要がある。
- ・なんばと天王寺・あべの間を日常的に歩くのかという部分では議論の余地がある。
⇒「なんば地区」、「天王寺・あべの地区」「新今宮地区」のそれぞれの緑化等の方針を定める。なお、上町台地エリアについては、今後、保全配慮計画において方針等を検討することとする。
- ・災害時避難は歩く前提であり、避難地と繋がっているようにしておく必要がある。
また、ミナミ地区はみどりが少ないため、生き物が移動できるネットワークの視点が必要。防災と生物多様性の面で物理的にみどりをつなぐことを考えてはどうか。
- ・なんば、あべのハルカス、キューズモールのあたりは先端的・立体的な緑化技術が集中的に展開できる可能性がある。なんばから東へ、さらに上町台地を南下すると自然回廊的であり、なんばから南下して東に行く場合は最先端の緑化やにぎわいづくりがあるという色分けもでき、回遊ルートの記述も重要になる可能性がある。
⇒なんばエリアの個別方針②の具体的方針（２）に、新たに壁面・屋上緑化などの緑化技術を用いたみどりの演出と生き物の移動を支えるみどりのネットワークの形成を追加した。
⇒新今宮エリアの個別方針③の具体的方針（２）に、新たに新たなみどり空間を拠点としたにぎわいの創出とまちづくりと連動したにぎわいの波及を追加した。

2. 前回審議会での主な意見と対応方針

《民間企業からのご意見》

- ・てんしばを核として、大阪市立美術館や周辺エリアをつないでいきたい。
⇒天王寺・あべのエリアの個別方針①を、**天王寺公園を核としたみどりの拠点づくりと機能の充実**に修正した。
- ・なんばエリアについては、開発に合わせて立体的な緑化を行うことで、みどりのネットワークをつなげていきたいと考えている。
⇒なんばエリアの個別方針②の具体的方針（２）に、新たに**壁面・屋上緑化などの緑化技術を用いたみどりの演出と生き物の移動を支えるみどりのネットワークの形成**を追加した。（再掲）
- ・なんばエリアにおけるみどりは、エンターテインメントを創っていく要素として重要なインフラだと認識している。一方で、新今宮エリアにおいて求められるみどりの役割は、都市における生活の質の向上ではないかと思う。
⇒新今宮エリアの個別方針③の具体的方針（１）に、新たに**多様な世代が利用でき、地域のコミュニティ醸成の場となる公園の創出**を追記した。

3. 意見を踏まえた修正案

■対象範囲の考え方

《なんばエリア》

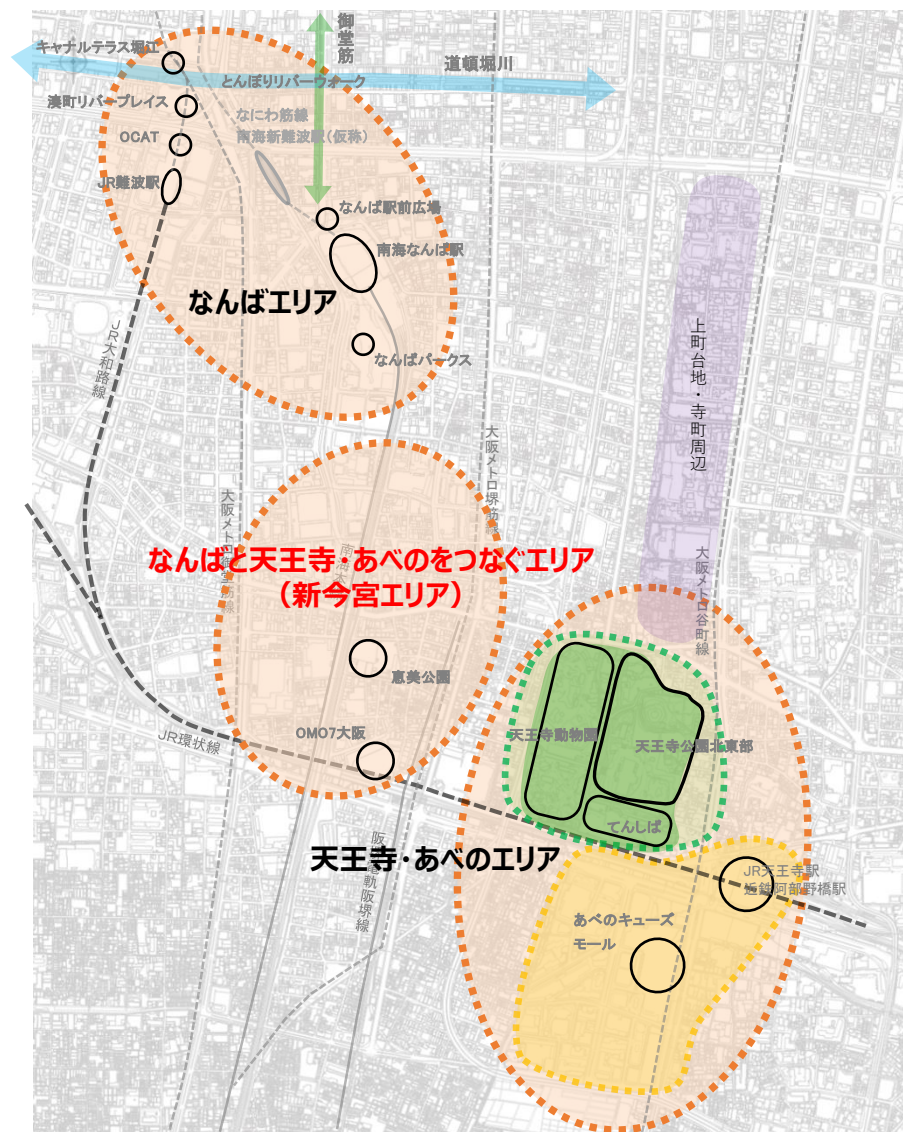
- なんばエリアは、エリア全体として観光客を呼び込みおもてなし空間となるみどりのまちづくりをすすめるエリアとする。
- エリアの核となる区域は、大阪のミナミの玄関口となる南海なんば駅、JR難波駅周辺とし、それぞれなんばパークスやOCAT周辺を取り込みながら、また、なにわ筋線新駅とのネットワークも視野に入れ、2拠点の連携を図る。

《天王寺・あべのエリア》

- 天王寺・あべのエリアは、JR天王寺駅を中心に、天王寺公園の機能充実と周辺のまちの魅力づくりを一体化させたエリアとして設定する。
- 駅北側の天王寺公園は、観光客や市民の方々が集まり、みどりを存分に楽しめるよう、動物園やエントランス広場、美術館周辺など特色あるエリアで構成する。
- 駅南側はまちの活性化を目指し、すでに完成している再開発区域一帯を位置付ける。

《新今宮エリア》 ※エリアとして設定するか今回検討

- 新今宮エリアは、OMO7大阪のオープンや、今後予定している恵美公園の整備など、新たなみどり空間の拠点形成が進み始めているエリアである。
- 新今宮駅北側まちづくりビジョンで示されたエリアを基本に、新今宮となんばをつなぐ南海高野線沿いの南北軸と、新今宮と天王寺・あべのをつなぐJR沿線沿いの東西軸を中心に観光・にぎわいつくりの視点を踏まえた一体的なエリアとなるよう設定する。



3. 意見を踏まえた修正案

－ 基本方針 －

天王寺公園を核としたみどりの拠点づくりと
なんば・天王寺・あべのを歩いて楽しめるみどりのまちづくり

（天王寺・あべの）
個別方針①

天王寺公園を核とした
みどりの拠点づくりと
機能の充実

- (1) 上町台地の南端に残る大阪の歴史・文化を感じられるみどりの保全育成
- (2) 庭園や動物園など都心の魅力を創造し発信するみどりの創出と管理運営
- (3) 生物多様性に関する情報発信や環境教育の場としての機能の充実

（なんば）
個別方針②

駅前の広場空間とつながる
居心地がよく歩いて楽しめる
みどりの創出

- (1) 新たなシンボル空間となる駅前広場と連続したみどりの創出
- (2) 壁面・屋上緑化などの緑化技術を用いたみどりの演出と生き物の移動を支えるみどりのネットワークの形成

（新今宮）※
個別方針③

にぎわいがつながり
楽しく回遊できる
新たなみどりの創出

- (1) 多様な世代が利用でき、地域のコミュニティ醸成の場となる公園の創出
- (2) 新たなみどり空間を拠点としたにぎわいの創出とまちづくりと連動したにぎわいの波及

※新今宮エリアの方針としてまとめるか今回検討

3. 意見を踏まえた修正案

■ご意見をいただきたい論点

《新今宮エリアについて》

- ・ 新今宮エリアは、新たなみどり空間の拠点形成が進み始めているエリアである。
- ・ 一方で、現在はまちづくりの途上段階にあるので、当エリアにおけるみどりのまちづくりの状況も、将来的に変化していくことが想定される。
- ・ そのため、新今宮エリアの設定の考え方について、委員の皆様からご意見を頂戴したい。

【事務局案】

- 新今宮をなんばと天王寺・あべのエリアをつなぐエリアとして設定し、次期基本計画の改定の段階で、必要に応じて修正を行っていく

または

- 今回はエリアとしての設定を見送り、なんばと天王寺・あべのエリアをつなぐみどりに係の方針のみに絞って記載し、次期基本計画の改定の段階で、新たにエリアとして位置付けるか検討する

